

災害時要援護者への支援 ～地域が一丸となって助け合いましょう!～

高齢者や乳幼児、または障害のある方など、災害時にさまざまな助けを必要とする人たちが、たくさんいます。地域が一丸となって、要援護者を守るための対策をこころがけましょう。

◎高齢者や寝たきりの方

- 緊急時は背負って安全な場所に移動する。
- 不安にさせないように声をかける。

◎耳が不自由な方

- 話すときは口を大きく動かすようにして、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で、正確な情報を伝える。

◎目が不自由な方

- 災害時には声をかけて情報をしっかりと伝える。
- 誘導する場合は、杖を持ったほうの手には触れず、ひじの辺りを軽く持ってもらい、避難を誘導する。

◎車イス利用の方

- 階段を使って移動する場合は、必ず2人以上で行い、上りは前向きに、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介護者が1人の場合は、ひもなどを利用して背負って避難する。



自主防災組織 ～自主防災組織を結成し、地域の防災力を高めましょう!～

■大規模な災害が発生したら…

大規模な災害が発生した場合、被害を最小限に食い止めるため、行政機関などは、総力をあげて防災活動に取り組めます。しかし、被害の規模が大きいほど、行政機関のみの活動では、十分な応急活動ができない場合が想定されます。

【阪神・淡路大震災では】

阪神・淡路大震災では、倒壊した家の下敷きになったことで、多くの犠牲者が出ましたが、助け出された人の大半が、近所の方々によって救出されました。

■自主防災組織とは

自主防災組織とは、地域の方々がお互いに協力し、災害から自分たちの地域を守るために結成される組織です。

いざというときには、隣近所の協力、助け合いが非常に大切です。地震に限らず、風水害や火災など、いつ災害が起こるかわかりません。

日頃から、ご近所同士のコミュニケーションを深め、互いに協力しながら、防災活動に取り組むことが重要です。



自主防災組織に関するご相談は、宇陀市総務部危機管理課までお問い合わせ下さい。